



2011年2月18日

各 位

会 社 名 イオン北海道 株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 植村 忠規
 (コード番号 7512 東証1部・札証)
 問合わせ先 取締役執行役員
 管理本部長 天廣 俊彦
 (TEL 011-865-9405)
 当社の親会社 イオン株式会社
 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号 8267 東証1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2010年4月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2011年2月期通期個別業績予想数値の修正 (2010年3月1日～2011年2月28日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	150,000	2,700	2,050	1,000	9円63銭
今回発表予想 (B)	150,100	4,400	3,800	1,600	15円41銭
増減額 (B-A)	100	1,700	1,750	600	
増減率 (%)	0.1	63.0	85.4	60.0	
(ご参考) 前期実績 (2010年2月期)	150,354	2,543	2,023	953	9円18銭

2. 修正の理由

当社は今年度方針である営業力の強化策として売場の活性化を進めるとともに品揃えの改革を行い、全店合同セール強化やお客さまのニーズに対応した販促の強化等、お客さまにご満足頂ける営業活動を目指し取り組んでまいりました。結果、売上高は第3四半期より既存店前年比100.4%と増収に転じ、続く第4四半期も堅調に推移しており年間売上高については当初計画を確保出来る見込みです。

売上総利益率においても、加工食品を中心にバックルームの在庫削減や食品における廃棄処分商品の削減への取り組み、衣料・住居余暇の在庫回転日数削減の効果により当初計画を0.2ポイント上回る見込みです。

販管費においては、「収益構造の改革」を継続的に実施して、人件費・設備費の削減に努め、また、売場・後方のオペレーションの効率化に向けて積極的に取り組んだ結果、当初計画に対して販管費が2.9ポイント改善し、前期より14億円削減出来る見込みです。

一方、当社が賃借している「ポスフル釧路店」及び「ポスフル登別店」の信託受益権を今後の経済合理性の判断によって取得することに伴い、特別損失として1,629百万円を計上する予定ですが、営業及び販管費での改善により、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益ともに当初予想を上回る見込みです。

※上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上